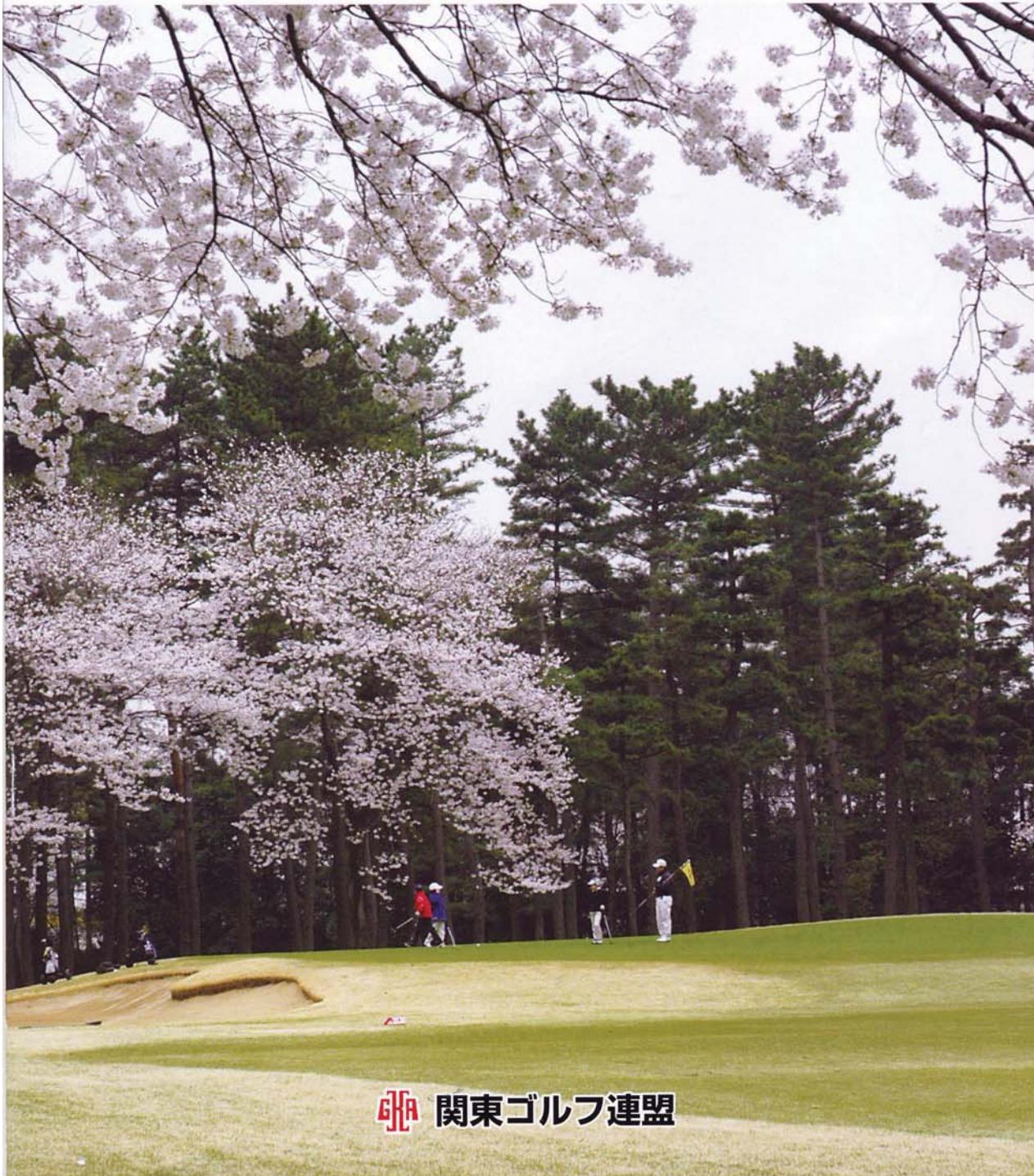


KGA NEWS

2007春号
2007年6月1日発行

No.94



 関東ゴルフ連盟

KGA NEWS No.94

2007春号 2007年6月1日発行

CONTENTS

- 第59回通常総会
前年度に挙げた7つの方策と
今年度に残された5つの課題 2
- 特別インタビュー／吉田理事長聞く
昨年度の課題を踏まえて
KGAが目指す本年度の基本方針 3
- 特別対談／インタビューアー高橋KGA広報委員長
1都10県の加盟倶楽部の活動状況を聞く——第7回 茨城県
県内の関連組織がまとまつた
「県ゴルフ連盟」の設立を目指す茨城県 6
- 平成19年度 第12回KGAジュニアゴルフ大会（若洲ゴルフリンクス）
優勝スコアは男女ともにベストの60台 13
- 平成19年度 KGA春季ジュニア・ゴルフスクール
小学生の部 千葉カントリークラブ梅郷コース 18
- 中学・高校の部 茨城ゴルフ倶楽部西コース 20
- 小・中学生の部 ハイランドセンター 22
- 新規加盟倶楽部紹介 24
- 総会・理事会・分科委員会 25
- 月例競技成績表・移転のお知らせ 36

表紙 Photo

KGA春季ジュニア・ゴルフスクール
千葉カントリークラブ
梅郷コース（撮影・増田牧／KGA広報委員）
満開の桜の中でレッスンを受けるジュニアたち



第59回通常総会（ホテルニューオータニ）



KGAジュニアゴルフ大会（若洲ゴルフリンクス）
真剣にスコアカードをチェックするジュニアたち



KGA春季ジュニア・ゴルフスクール
ハイランドセンター 初級者教室開会式



1
KGA春季ジュニア・ゴルフスクール茨城ゴルフ倶楽部の桜

前年度に挙げた 7つの方策と 今年度に残された 5つの課題

—吉田理事長の挨拶から—

写真／塚越克一・増田 收(KGA広報委員)

第59回関東ゴルフ連盟通常総会は、平成19年2月20日（火）、午前10時よりホテルニューオータニ（東京都千代田区紀尾井町）において開催された。出席俱楽部は正会員502俱楽部中出席79俱楽部、委任状出席は235俱楽部で、合計314俱楽部の出席となり、規約により総会の成立をみた。会議は吉田友明理事長が議長を務め、以下の上程議案の審議を行ない、いずれも承認、可決された。

◆議案

第一号議案…平成18年度事業報告、並びに一般会計・特別会計収支決算の承認の件
第二号議案…平成19年度事業予定、並びに一般会計・特別会計収支予算（案）の承認の件

第三号議案…役員任期満了に伴う改選の件
報告事項…1.（財）日本ゴルフ協会「平成18年度事業報告及び決算報告」並びに「平成19年度事業計画及び予算に関する件
2.（財）日本ゴルフ協会、理事・監事候補選任」に関する件

なお、吉田友明理事長は、審議に先立ち、概要つぎのように挨拶した。

本年度が始まる前に、私は7つの方策を申し上げましたが、それを振り返ってみると、お



第59回通常総会（ホテルニューオータニ）

蔭さまで、それなりの成果が得られた年ではなかったかと存じます。

主催しました各競技へは沢山の方々の参加を頂きました。とくに関東アマチュア選手権、関東ミッドアマチュア選手権には、参加希望者が多く、予選競技で準備した会場では対応できない状況がありました。これにはいろいろな要因があろうかと思いますが、連盟の堅実な競技運営で、フェアな競技を展開していることが、大きな要因として挙げられると考えます。

関東俱楽部対抗競技へは、加盟俱楽部の約70%となる351俱楽部の参加があり、益々盛んになっていく傾向を見せております。このことは競技の運営に当たって、各都県代表常務理事の皆様が中心になって、各県の実情を十分に踏まえて実施していることが効果を生んでいるものと考えます。そしてアンダーハンディキャップ競技の参加者の増加もここに起因しているかと存じます。

ハンディキャップについては、（財）日本ゴルフ協会が進めている「JGAゴルファーズ俱楽部」との関係から、その調整に時間を費やしたが、その間に利用している各俱楽部に対して、より利用しやすくなることと、普及を目的とした新たな方策を準備しております。各俱楽部からのカードの処理枚数も予測した枚数よりも多くの依頼があり、着実に浸透していることが感

じ取れます。さらに関連して、コースレート査定が大幅な増加となり、対応に苦慮するという一面もありました。

そしてジュニア育成についても、時代を背景にしてか、関東ジュニア選手権、ジュニア・ゴルフスクール、ジュニアゴルフ大会等、すべての活動に多くの参加者申込みがあり、とくに小学生の参加が著しく伸びております。

しかし、現状はこのような活発な活動状況にあるのですが、いくつかの課題が見受けられたのも事実です。それを挙げてみますと、

- 活動の拡大に対応する運営体制。
- 俱楽部対抗競技の参加者の増加への対処。

●参加競技者のエチケットとマナー。

●ジュニアの低年齢化への対応。

●KGAカードの普及への新たな展開。

などです。

このようなことを背景に連盟の収支を見ますと、一般会計・特別会計とも予算を上まわる結果を確保することができました。

以上の結果から全体としては、成果の得られた年度と位置づけることができ、これはひとえに皆様のご尽力の賜物と、心より敬意を示すとともに微力ながら役割を果たし得たことに心から御礼を申し上げます。

■特別インタビュー／吉田理事長に聞く

昨年度の課題を踏まえて KGAが目指す本年度の基本方針

—所信表明で挙げた新しい7つの方策とは—

インタビュアー／塩田 正(KGA広報委員)



吉田友明理事長

■特筆される競技者の増加

—吉田理事長は昨年度通常総会でのご挨拶の中で、7つの方策を挙げられました。まず、その成果について総括して頂けたらと存じます。

吉田 昨年度目立ったのが競技者の増加だったと思います。特に関東アマチュア選手権、関東ミッドアマチュア選手権は参加希望者が多く、予選競技で準備した会場だけでは対応できない状況があったほどでした。

—なぜ、こうした競技志向のゴルファーが増加したと思われますか。

吉田 いろいろあろうかと思いますが、連盟の競技運営がしっかりとしたフェアな競技を展開

していることが大きな要因になっているのではないかと思います。

—その他昨年度に目立ったことはありましたか。

吉田 関東俱楽部対抗が年々盛んになっていく傾向にあることですね。昨年度は加盟俱楽部の70パーセントにあたる351俱楽部の参加がありました。このように参加俱楽部が急増した背景には、各都県代表常務理事の皆様が中心になって、各地区的実情を十分に踏まえて実施していることが効果を生んでいるのだと思います。

—事情の許す県では、8選手（A・B両クラス合わせて）中、6名のスコアを採用するやり方を進めているようですが……。

吉田 各都県の実情はそれぞれに違はずで、

そうした決定は都県代表常務理事を中心とする皆様にゆだねたわけです。そういう点では、今年も8選手出場して6選手のスコアを採用するところが新しく出てくると思われます。

—ということは、俱楽部対抗競技は、決勝競技に進出することが最大の目標ではなく、各都県で行われる競技そのものも重要視しているわけでしょうか。

吉田 そうです。各都県の俱楽部対抗を決勝のための予選として位置づけるのではなく、各都県の俱楽部対抗そのものが、それぞれ独立した競技という意識をもって頂きたいと考えています。俱楽部対抗競技は皆様もご存知のように、もともと親善を目的に挙げた競技会ですから……。—次にジュニア育成も課題の一つに挙げておられたと思いますが。

吉田 ジュニアの世界も時代を背景にして、関東ジュニア選手権、ジュニア・ゴルフスクール、ジュニアゴルフ大会の活動に数多くの参加申し込みがありました。特に参加者の傾向として低年齢化を示し、小学生の参加者が著しく増えているのが現状です。例えば今年度の春に開催したジュニアゴルフ大会（若洲）は小学生が競技形式で行う大会なんでしたが、申し込みが殺到し一日で締切らなければならなかったほどです。

■後継者の育成と「J-sys」(ジェイシス)ハンディキャップシステム機能の変更

—さて、そこで昨年度から今年度へ、吉田理事長は通常総会の席上「昨年度の課題を基本に置いて、改めて関東ゴルフ連盟の目的を確認して」7つの方策を展開すると所信を表明されました。(別掲)「後継者の育成を大切な事と考えて、運営と活動を展開する」とあります。具体的にどんな方策を展開していくのでしょうか。

吉田 端的にいえば、委員会やその他の部会の中に「こんな優れた人材が埋もれているじゃないか。新時代のKGAのためには、そういう優

秀な人たちや情報をもっている人たちを引き上げていこう」というのが根本的な考え方です。—やがてそういう人たちがKGAを動かしていくということですか。

吉田 そうです。現在、枢要な立場にある人でも、10年、15年と同じ役職に留まるというわけにはいきません。ある時期が来て「後進に席をゆずりたい」といったときに「誰もいない」ではKGAの発展にも陰りが見えてきます。そんなときに円滑に次代へ引き継がれていかなればなりません。とにかく偉大な先輩たちが築いてきたこのKGAを時代とともに大きく発展させてもらうためには、今が大事な時だと思っております。そのために真っ先に挙げたのがこの方策というわけです。

—危機管理システムの一つともいえますね。今年から始まる団塊の世代の定年退職で、有能な人が会社を辞めていき、組織の弱体化が懸念されていますが……。

吉田 我々はボランティアですから大量の団塊の定年退職とは趣を異にしますが、考え方としては次の時代との空白は避けたいと思っています。—もう具体的に動き出しているのでしょうか。

吉田 早速、その目標に向けて、競技委員会などでは、管理運営研修会という部門を設けて動き出しています。他の委員会でもこの方策を探りながら前へ進んでいくと思いますよ。

—それと今年度の大きな改革の一つに「J-sys」の普及ということがありますね。

吉田 JGAハンディキャップ査定について、現状は「J-sys」を採用している俱楽部と、独自に俱楽部で計算して決めているところもあります。このような実情からすれば「ゴルファーが複数の俱楽部に所属すれば、それぞれ異なるJGAハンディキャップを持つ」ということで混乱が生じています。このような混乱を無くす為にも、KGAでは全ての加盟俱楽部が「J-sys」を採用してもらえるように、「J-sys」のシステ

吉田理事長の所信表明内容

昨今では大手企業から中小企業まで、景気の回復が大きく叫ばれておりますが、ゴルフ界と致しましても、比較的立地条件の良いところは入場者も増加の傾向が見えております。

しかしながら、全体としてみると、ゴルフ界を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況であるというのが、実感ではないかと存じます。最近は格差のことが話題となっておりますが、ゴルフ界も地域格差が明確に表れてきているかと存じます。

本年より、団塊の世代の670万人が定年を迎えてまいりますので、短期的な課題として、この世代を確りと受け止めることができるか否かが、俱楽部運営に大きく影響を与えるのではないかと存じます。

さて、このような状況の下で、関東ゴルフ連盟として、本年度の方針で御座いますが、昨年度の

課題を基本に置いて改めて関東ゴルフ連盟の目的を確認して、次の7つの方策を展開してまいりたいと考えております。

1. 後継者の育成を確りと考えて、運営と活動を開発する。
2. 俱楽部対抗競技の制度検討と充実を図る。
3. 団塊の世代を取り込むための、アンダーハンディキャップ選手権競技の活性化を図る。
4. J-sysの普及とJGAへの移行は慎重に検討し協力する。
5. 関東高等学校ゴルフ連盟との連携を強化する。
6. KGAゴルファーズカードの加盟増加目標を達成し、普及を図る。
7. 加盟俱楽部の加入を促進する。

以上の7つの方策を、役員・分科委員の皆様と充分な話し合いをしながら確実に展開をし、連盟の使命である、加盟俱楽部の親睦による連携強化と健全なゴルフの普及・発展を計りたいと存じます。

改めまして、皆様のご協力とご支援を心よりお願いを申し上げる次第で御座います。

ム機能変更をするわけです。従って、今後は、「J-sys」によって査定されたものがJGAハンディキャップであると統一されていく事になるでしょう。そして、さらに「J-sys」に俱楽部ハンディキャップも管理できる機能を追加していますので、JGAハンディキャップと俱楽部ハンディキャップの一元管理ができるようになります。

—「J-sys」の一本化に一步あゆみだしたわけですね。

吉田 そうです。JGAハンディキャップ査定の「J-sys」への一本化と、まだまだ各俱楽部では俱楽部ハンディキャップが運用されていますので、そのことも大切にしながら両者を一元管理することによって、俱楽部ハンディキャップとともに「自分自身のJGAハンディキャップ」が常に意識されるはずです。

—普及のために、具体的にはどのような変更があるのでしょうか。

吉田 まず、第1にハンディキャップ査定料金

を安くして、経済性を良くするように計画しています。第2にスコア入力を俱楽部だけではなく、ゴルファーが携帯電話からスコア入力ができ、利便性を上げてスピーディな処理を実現できるとともに、個人でスコア管理ができる「いつでも、どこでも、簡単に」見ることができるように思っています。このことによって、個人としては携帯電話でJGAハンディキャップを確認でき、証明書の発給は各俱楽部のパソコンから出せるようになるでしょう。第3にハンディキャップを取得している会員を登録してもらうことを考えています。

—そうするとKGA加盟俱楽部では、ハンディキャップを取得している全員が「J-sys」に登録してもらえば、もっと混乱はなくなりますね。

吉田 一日も早く、加盟俱楽部の全てが「J-sys」を採用してもらって、「J-sys」がハンディキャップのデータバンクになれば素晴らしいことだと思います。



第7回 茨城県

県内の関連組織がまとまつた 「県ゴルフ連盟」の設立を目指す茨城県

関東ゴルフ連盟常務理事、総務委員会委員／茨城県ゴルフ場協会会長 塚原 裕氏
インタビュー／高橋正孝(KGA広報委員長)
カット／山縣和彦



塚原裕氏

高橋 塚原さんに
は、いつも貴重な
ご意見をいただい
ております。今日
は茨城県の活動
状況をご紹介い
ただくとともに、
KGA、あるいは
ゴルフ界全体への
ご意見、ご提案も
いただければ有意

義な対談になろう
かと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

塚原 こちらこそ、よろしくお願ひいたします。

高橋 では早速ですが、茨城県内のKGA加盟
倶楽部は現在いくつでしょうか。

塚原 77倶楽部です。

高橋 県内には、どれくらいのゴルフ場が？

塚原 18ホール以上の規模の倶楽部が、全部で
126あります。うち115倶楽部が県の支配人会に
所属しているといった状況です。

高橋 そうすると、未加盟倶楽部が50近くある
わけですが、それはやはり倶楽部として競技志
向が薄いというのが理由でしょうか。

塚原 そうですね。一番の理由はそれかと思
います。競技選手がいなければKGA加盟のメリ

ットが少ないとされているのでしょうか。
高橋 KGAは競技団体の位置づけですから、
競技志向の少ない倶楽部にとってはメリットが
ない、ということになりますね。しかし、その
一方で、このところ倶楽部対抗に出場するゴル
フ場は増えています。

塚原 ええ、茨城県でも増えております。

高橋 倶楽部対抗に出場するために、新たに
KGAに加盟するという動きはありませんか？

塚原 確かに、こうした動きは少し見られま
すね。

高橋 なるほど。こうした動きがさらに広がる
とありがたいですね。ちなみに、77倶楽部のうち
倶楽部対抗に参加しているのは。

塚原 45倶楽部です。今後、もう少し増えるよう
に努力したいと考えております。

高橋 ただし、KGA加盟のメリットは競技会
だけではありませんからね。KGAとしましては、
そのあたりのことをご理解いただいたうえで加
盟倶楽部が増えるよう、あれこれ対策を考
えているところです。そのひとつとして、ネット上
のホームページを立ち上げたわけですが、まだ
まだ未加盟倶楽部に対する働きかけ、PR活動
は足らないでしょうか。

塚原 ええ、そう思います。そこで余談になる
かもしれません、今は昔と違ってたくさんの
メディアがあります。例えば、テレビではCS

放送とかケーブルテレビ、あるいはインターネット
でも映像を流せる時代です。こうした新しい
メディアにKGA関連の競技の模様を流すと
か、広報番組を作るとか。新しいメディアで、
より積極的な広報活動を考えてもいい時期では
ないでしょうか。

高橋 確かにそうですね。実は、昨年からCS
放送やケーブルテレビで放送されるジュピター
テレビのゴルフネットワークでスポットコマ
ーシャルを流しています。

塚原 ああ、そうでしたね。

高橋 でも、おっしゃるとおり、スポットコマ
ーシャル以外に、5分くらいの番組でトピックス
やKGAニュースを放送するという手はある
でしょうね。

塚原 選手権競技志向の強い倶楽部にはKGA
の存在もよく知られていますが、もともと選手
権競技志向のゴルファーは全体のほんの一部で
す。メンバーの多くはレジャー志向、クラブラ
イフ志向のゴルファーですから、そこにも理解
を広げる活動が必要でしょうね。

高橋 なるほど。もっとインパクトのある活動
実績。例えば、利用税の完全撤廃といった実績
を作れば、KGAに対する認識もまた変わるの
でしょうね。

塚原 でもそれは経営サイドにはインパクトが
あります。一般ゴルファーにはどうでしょうか。
PRという点からは、先ほど述べた新しい
メディアを通じての広報活動がいいと思います。
競技とともに、ゴルフ振興、ゴルファーの底辺
拡大もKGAの大変な使命でしょうから。

高橋 私個人の考えですが、KGAが独自に一
般ゴルファーの志向、つまりゴルフ観とかゴル
フ場に求めていること、不満点などを吸い上げ、
それを分析して、ゴルフ場にフィードバックし
てあげるといった活動ができれば、ゴルフ場に
は喜ばれ、KGA加盟の意義も認めていただけ

るのでは？

塚原 それはいいですね。

高橋 おいおいそういう活動も提案していこ
うと思っています。

塚原 是非、お願いします。

●茨城県の主なゴルフ関連組織

高橋 ところで、現在、茨城県内にはどういっ
たゴルフ関連団体がおありなんでしょうか？

塚原 まずは県ゴルフ場協会。これは基本的に
私たちゴルフ場経営者の団体です。それからゴ
ルフ場支配人会、アマチュアゴルフ連盟、ゴル
フ練習場連盟、そして茨城県プロゴルフ会。大
きくこれらの団体があります。

高橋 そうした団体が一同に集まって話し合う
機会はありますか？

塚原 栃木県の広中・篠崎両常務様のご尽力を
いただき、茨城県も今準備中でございます。率
直なところ茨城県もその機運が生まれてきま
したね。正直、ゴルフ場協会と支配人会の間に少
し温度差がありまして……。温度差というのは、
ゴルフ場協会は以前「オーナー会」とも言われ
まして、支配人会からすれば、共同で何か行う
となると、「オーナー会」の下に組み込まれる
のでは、という意識があったんです。しかし今
は、ご存じのようにオーナーが直接経営するゴ
ルフ場は少なくなり、反対に支配人が代表を務
めるゴルフ場が増えましたから……。それで、
ようやく県ゴルフ場協会と支配人会が対等に、
同じ方向を向いて協議できる環境になってきま
した。

高橋 なるほど、ゴルフ界をめぐる環境はだい
ぶ変わってきましたからね。ところで、そうし
た関連団体に補助金は？

塚原 はい。県ゴルフ場協会から支配人会、ア
マチュア連盟、プロゴルフ会の3団体に、それ
ぞれ大きな額ではありませんが毎年補助金を提

供しています。なかでも、アマチュア連盟は国体に参加する全国組織ですが、財政の基盤のない団体ですから、我々の支援は欠かせません。そのため、いずれ一緒になる方向で、アマチュア連盟の会長と協議しているところです。

高橋 その補助金ですが、原資は?

塚原 KGAの助成金を基にして県ゴルフ場協会の年会費からも支出しております。

高橋 そうですか。次に支配人会についてお聞きしたいのですが、ここは主にどういった活動を?

塚原 一番は利用税の免除や割引等に関する活動ですね。それから、県の林務課が中心になって行っている松くい虫対策の講習会に参加しています。松くい虫対策については、以前は県から補助金が出ていたんですが、現在は指導と講習だけです。

高橋 確か以前は、松くい虫で枯れた松、一本につき幾らという形で補助金が出てたんですね。

塚原 ええ、その制度がなくなったんです。

高橋 茨城県も、海岸沿いに松が相当数枯れてしましましたよね。

塚原 ええ。ですから、予防のための講習会は活発に行っています。支配人会ではその他に、



農薬の規制とか、事故防止のためのネットに関する講習会を年に1~2度行っています。

高橋 グリーンキーパーのための講習会、研究会といったことは?

塚原 キーパー会がありますが、それが今述べた松くい虫と農薬の講習会に参加しています。他には、キャディーマスターを中心——これは地区別の実施ですが——各労働基準監督署による安全対策の講習会を実施しています。それから、県警と所轄の警察署と協力して暴力団対策や防犯の講習も活発です。ほかに、所属倶楽部の研修生、研究生のうち、プロテストに受験する力量が認められた者が参加するプロテスト会という組織があります。現在、茨城県の倶楽部には約110名のプロが在籍しています。うち女子は30名ほど。昨年は男子3名が新たにプロテストに合格しました。

高橋 ちなみに、茨城県オープンといった、地区的プロゴルファーのための競技会はありますか?

塚原 はい、やっています。

高橋 プロの励みになりますからね。

●関連組織による様々な活動

塚原 他には、産廃問題に関する講習を行っています。幸い茨城県ではまだ問題になっていませんが、他県では問題が生じているようすで、大事なことかと。

高橋 ゴルフ場では芝の刈りかすとか、落ち葉が大量に出ますから、その廃棄処理が問題になることもあるようですね。

塚原 それと、カートなんです。カートの場合、買い替え時期になれば、大量に廃棄され、それが産廃となって一部で問題が起きているようです。

高橋 そうですか。乗用カートですと、耐用年数はどれくらいでしょうか? 7年くらいです

かね。

塚原 上手に使えばそれくらい持ちますが、普通は5年くらいでしょうか。

高橋 すると、数年前から、全国的にキャディー制を廃止して、セルフ制で乗用カートを導入する動きが盛んになりましたが、そうしたところが一齊に買い換え時期を迎えるわけですね。

塚原 ええ。ですので、その適切な処理を講習しておこうということです。

高橋 なるほど。ゴルフ場のカートは再利用が極めて難しいようですからね。これからは、始めからリサイクルを考えた構造にしておく必要があるかも知れませんね。

塚原 もうひとつ、平成17年1月に、茨城県の橋本昌知事と私と支配人会会長との出席で、県とゴルフ場の間で災害時の「支援協力協定」の締結を行いました。これは、ちょうど中越地震の直後だったので、被災者の避難場所が問題になっていたことから、全国的にも注目されるニュースになりました。具体的には、県内のゴルフ場は地域別に4地区に分かれているのですが、地区ごとに3ゴルフ場ほど指定し、そこが地元消防署と協議して必要な備品を揃え、避難訓練だけでなく、避難民の受け入れ訓練を行っています。規模の大きなクラブハウスは避難民の受け入れには十分ですし、新たに揃える備品もほとんどありませんでした。

高橋 それは大変素晴らしい活動ですね。それとちょっと関連したことですが、ゴルフ場の安全対策として、最近、全国的にAED(自動体外式除細動器)を設置するゴルフ場が増えています。AEDというのは、いわゆる心臓発作を起こした心臓に電気ショックを与えて蘇生させる機器ですが、最近のJGA主催競技の会場には、レンタルなどで相当数のAEDが用意されています。

塚原 そうですか。それは茨城県でも早速検討

したいと思います。

高橋 是非に。

単価も随分安くなってきましたから、各ゴルフ場に最低1台ずつ備えてもらいたいですね。また、これを設置して消防署に要

請しますと、救急救命の講習を開いてくれますし、その講習を機会に消防署との結びつきが深まりますと、いざと言うときに何かと心強いではありませんか。

塚原 そうですね。それはいいことお聞きしました。

●ジュニアへの普及活動

塚原 そのほか、県レベルで行っていることにジュニア教室があります。平成15年の8月から年2回、4地区各1会場で実施していますが、それぞれ30人前後の参加があります。ジュニアといつても対象は小学生で、小学3年~6年生の初心者から上級者まで受け付けています。1000円の参加費用をいただいているが、いずれは無料にして参加者を増やし、開催会場も増やしていきたいと考えています。ちなみに、プロゴルフ会のメンバーが指導に当たるのですが、講師料などの経費は県ゴルフ場協会で負担しています。ジュニア教室は基本的に1日間ですが、夏は2日間にわたるものもあります。他に、親子で参加するゴルフ教室も行っています。

高橋 KGAでもジュニア育成は行っていますが、どうしても選手が中心になりますから。ジュニアの普及は、やはり県単位で、きめ細かくやっていただくしかないですね。



高橋 KGA 広報委員長

塚原 それはそうですね。

高橋 地域に密着したゴルフ教室があれば、ジュニアの場合、次に友だちを誘ってくるというように横に広がる可能性がありますから、とてもいいことだと思います。

塚原 お蔭さまで、茨城県の場合も参加者は年々増えています。

高橋 参加者の男女比はどれくらいですか？

塚原 圧倒的に男子が多く、女子は1~2割ですね。一般ゴルファーの女性の割合は10%強と言われていますが、不思議なことにジュニアも同じような割合になりますね。“藍ちゃん人気”で女子ジュニアブームといった声もありますが、実際のジュニアの男女比は変わっていませんね。

高橋 ご存じのように、ゴルフ人口を世代別にみると、20代、30代にゴルフをする人が少ないので、この世代に直接アピールするよりも、まずジュニアにプレーしてもらってから、次にその親に来てもらうという戦略ができないものでしょうか（笑）。

塚原 それは考えてみる価値がありますね。

高橋 これは冗談ではなく、日本ではスポーツをしない層がどんどん増える傾向にあります。国民の健康からして、それは大きな問題ですから、その点では生涯スポーツとして楽しめるゴルフが持つ重要性はますます高まるのではないかでしょうか。次に、アマチュア競技の実施状況をお聞きしたいのですが、月にどれくらいの競技が行われていますか？

塚原 どうでしょうか？ トップシーズンには月2~3試合のペースで実施されていますが……。茨城県の場合は、地元の茨城新聞が主催、後援する試合が多いんです。

高橋 新聞社が主催、後援する競技会であれば、広報も行き届きますし、結果も広く知らされますがありがたいですね。あと、地元テレビ局は？

塚原 茨城県にはローカルテレビ局がないんですよ。

高橋 そうでしたか。茨城新聞を中心になって開局しても良さそうですが。

塚原 そうですね。

高橋 ローカル局やCATVがある県では、試合の模様が放送されて、関係者にはとても喜ばれているようですからね。ところで、先ほどの倶楽部対抗ですが、茨城県は昔から好成績を挙げていますね。県として、何か特別なことをおやりなのでしょうか？

塚原 いいえ、各倶楽部が個別に行っているだけです。ただし1箇所でも強い倶楽部ができると、周りも競争し互いに切磋琢磨しますから、結果、地域全体のレベルが上がるということなのでしょう。それと、最近茨城県では倶楽部メンバーの世代交代が進んだところが増えています。そうして選手権競技志向の若いメンバーが増えたところが、新たに強くなっているようです。

高橋 かつては、どの県でも強豪倶楽部は一握りに偏っていましたが、最近は強いところが増えました。それはいい動きといえるでしょう。

●アンダーハンディキャップ選手権競技等をめぐる問題

高橋 次にアンダーハンディ競技についてなんですが、全般に参加者が少なくて、なんとか対策を考えなければと言われています。茨城県はどうでしょうか？

塚原 やはり全般的に少ないですね。その原因はいろいろあるのでしょうか、まず何と言ってもJGAハンディを取得する人が少ないことです。倶楽部ハンディで出場ができれば、参加者も多くなると思いますが、アンダーハンディキャップ競技の開催目的がJGAハンディキャップの普及ですから、それはできませんね。そ

して少しでもアンダーハンディキャップ競技に参加することで、競技の面白さを知ってもらいJGAハンディキャップの意識を高めてもらいたいと思います。

高橋 そうですね。

塚原 もう一段、取得しやすい仕組みに下げてもらえるといいのですが……。もともとJGAハンディキャップは、ゴルファーの裾野を広げ二次的には、ゴルフ振興につなげることにあるわけですから、その点を考慮した弾力性のある運営ができます。

高橋 JGAは競技については、どうしてもトッププレイヤーを中心に考えてしまいますが、「一般ゴルファーには弾力性のある運営を」といつても、なかなか難しいですね。

塚原 しかし、そのことも倶楽部がKGAへの加盟メリットを考えてしまう理由のひとつだと思います。「競技といっても、所詮は一部トッププレイヤーだけの話だから……」という認識です。

高橋 なるほど分りました。ちなみに、JGAハンディを取ろうという動きはどうですか？

塚原 そうですね。目立って増えてはいません。ただ、倶楽部が主催する競技で、ハンディなどの参加資格を設けない競技には、以前よりはるかに多くのゴルファーが申し込まれるようになりました。ですから、競技に関心のあるゴルファーは全体に増えているんじゃないでしょうか。どんな形であれ、選手権競技ゴルフの楽しさを知ってもらうことは大事なことだと思います。

●関連組織がまとまった連盟づくりへ

高橋 ところで、ゴルフ場業界ではどこも、食堂やコース管理、それからキャディーなどの分野で人手不足。なかなかいい人材が集まらないと言われています。その点では、茨城県はいか



ですか？

塚原 北と南では、ゴルフ場をめぐる状況がかなり異なるので概には言えませんが、キャディーに関してはどこも人手不足でしょうね。というのも、このところの景気回復に伴い、全般にキャディーのニーズが高まっているからです。

高橋 やはりそうですか。

塚原 その一方で、キャディーが集まらないのは、以前と比べ収入面での魅力が相対的に低くなったから。つまり、より高い給料をもらえる仕事が他にあるからでしょうね。最近は介護の仕事に流れているよう思います。

高橋 なるほど。それに対して、各倶楽部ではどのような対処を。

塚原 キャディーの仕事は素人にはできませんし、すぐに養成できるわけでもありません。ですので、忙しいときはOBにパートタイムで手伝ってもらうという形で、何とかやりくりしているのではないでしょうか。

高橋 今は、キャディーに対するプレイヤーの見方もシビアになりましたね。キャディーが付くのなら、きちんと仕事ができるキャディーでなければ認めないといった。

塚原 そうですね。バブル崩壊以降、サービスの内容が料金に見合ったものか、その価値をシ



ビアに評価されるようになりました。チェックが厳しいですね。各ゴルフ場は、そこを見誤らないようにしなければいけないと思います。ちなみに、キャディー不足の現状からひとつ提案があります。KGAの競技を実施する場合、キャディーの数をきちんと揃えなければいけませんが、例えば、先ほどのアンダーハンディ競技のようなトッププレーヤー以外の競技なら、セルフでも実施できないでしょうか。繰り返しになりますが、競技によっては柔軟な運営ができるようになれば、より参加者が増えると思うのですが。

高橋 よくわかりました。そのほか、KGAの運営に対して、ご要望はございますでしょうか。

塚原 広報費のアップを考えていただけたらと思います。

高橋 確かに、ホームページとか、この『KGA NEWS』もございますが、一般ゴルファーへのPRというよりも、記録や報告事項といった事務的な内容が多いですからね。

塚原 はい。

高橋 私もホームページに関しては、キャパシティ（編集スペース）は無限ですから、一部には面白いページがあつてもいいんじゃないかなと。

塚原 是非、作ってもらいたいですね。

高橋 ホームページで優れているのは、一般ゴ

ルファーから素早く反応が得られることですね。例えば、アンケート調査をやれば、すぐにまとまった回答が得られます。また、広い世代に伝えられるのも魅力です。我々の場合、普通にしていましたら、どうしても古い世代の意見しか聞かれませんから。ホームページを活用すれば、若いゴルファーの志向を汲み取ることもできます。そうしたシステムができるまではもう少し時間がかかるでしょうが、なんとか皆さんの意見をうかがいながら、いいものにしたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

塚原 ええ、私たちのできることであれば。

高橋 最後に、今後、茨城県のゴルフ関連組織が目指す方向のようなものがございましたら、お話しください。

塚原 やはり、各組織がひとつにまとめた県のゴルフ連盟というか、協議会のような団体を結成したいですね。各組織が横断的に集まれる場を作り、あらゆる問題を全組織で検討できるようにしたい。そこでなんですが、県ごとに多数あるゴルフ関連組織がまとまる際に、JGAなりKGAがひとつの指針とか、ひな型、モデルといったものを提示していただけると、まとめやすいつのですが……。今は、各県ごと自由に組織化していますから、こちらも他県をお手本にしながらまとめて行こうとしているのが現状です。

高橋 なるほど。そのことも含め、今日は貴重なご意見、ご提案をありがとうございました。これからも遠慮なく、お考えをお聞かせください。

お詫びと訂正

2006年秋・冬号No.93「特別対談／1都10県の加盟俱楽部の活動状況を聞く」の文中、広中三男氏と篠崎勝宏氏の写真（20ページ、22ページ）が入れ替っておりました。ここに深くお詫び申し上げ、訂正させて頂きます。

平成19年度第12回KGAジュニアゴルフ大会・若洲ゴルフリンクス

優勝スコアは男女ともに ベストの60台

—わずか1日で募集人員を超える盛況ぶり—

文／森口静彦(KGA広報委員) 写真／舟橋一芳・増田 收(KGA広報委員)



クラブハウスを背景にスタート前のパッティング練習

春休みも終わりに近い去る3月27日（火）、平成19年度のKGAジュニアゴルフ大会が若洲ゴルフリンクスで開催された。同リンクスでの開催は12回目となる。

大会開始に先立って、7時15分から、ハウス2階会議室に於いて委員会が開催された。

●スタート前に基本方針の打ち合わせ●

今大会には、新人委員が多数参加（28名中21名）しており、大鷲委員長自ら議事進行を務めた。委員長の挨拶の概要は次の通り。

①第1回目に開催したジュニアゴルフ大会の参加者は僅か91名であったが、近年参加者が増加の傾向にあり、今年度から参加資格を小学

校4.5.6年生に限定したものの、130名募集に対して1日で144名の申込みがあり、募集人員に達するほどの盛況ぶりで、結局、（因みに前年度は1週間で満杯）全員参加を認めることとした。

②本大会は選手権競技と異なり、ルールを厳密に適用するよりはエチケット、マナーを重視し、ゴルフの面白さをより一層理解してもらえるように優しく指導する。

③ジュニアのみならず、子供を正しい方向に育てるように親を教育することも大切である。

④今大会から各ホールの担当委員を決め、担当ホールの運営について責任を持つ体制とした。

⑤ジュニア教育の基本として、挨拶ができるよ



左から優勝した松下龍之介君、2位櫻井大樹君と、3位加藤政和君



左から女子優勝の塩屋恵さん、2位中山裕里加さん、3位渡邊碧さん



スコアカードを渡されて、いよいよスタート



熱戦を忘れて楽しい食事のひととき

うに続ける、他人に迷惑をかけないゴルファーに育てる、ゴルフは危険を伴うので安全確認の重要性を認識させることなどである。

成長するジュニアのあとを追って

今大会の出場者は、男子83名、欠場4名、女子53名、欠場3名、計143名、欠場7名。「15分前にスタートホールに集合」と決められていたが、交通渋滞に巻き込まれた組もあって、バッグを抱えた選手が走り回ったり、アウトとインを間違えて右往左往したり、場内放送で選手を呼び出す声が響き渡るなどなど、関係者のご苦労は大変だった。

午前8時、アウト、インからそれぞれ男子

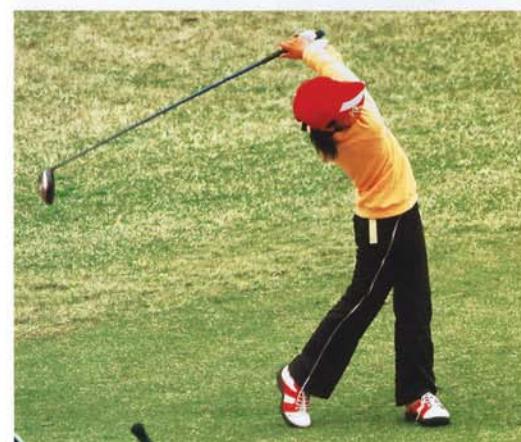
組、女子組の順でスタート。アウト1、4、5、6、イン10、14、15、16の各ホール以外は、フェアウェイに特設ティを設け、アウト2,560ヤード、パー36、イン2,656ヤード、パー36、合計5,216ヤード、パー72に設定された。

天候曇り。会場は三方を海に囲まれたシーサイドコースであり、風が吹いて当たり前なのが、当日は無風状態。近くの風力発電機の大きなプロペラが、所在なさそうにストップしたままだ。寒からず暑からずのゴルフ日和だった。

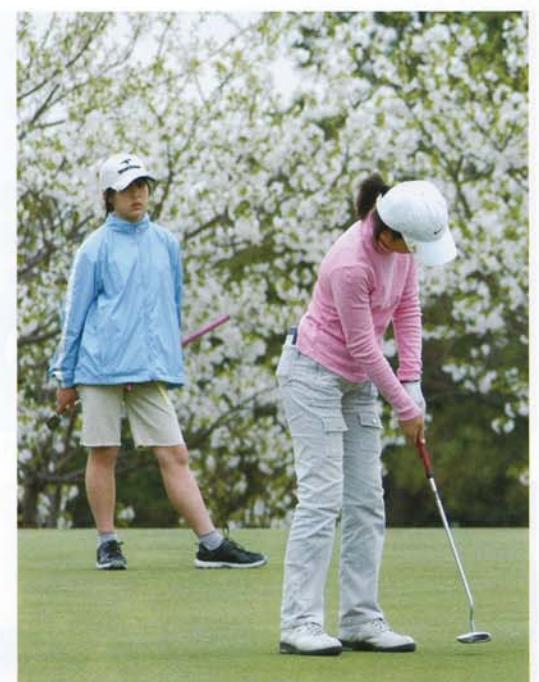
スタート小屋の中で、プレー上の説明を受けると共にボールを確認し、スコアカードを受取ってスタートして行く。各委員の名札は、名前の下に「先生」と書かれている。先生からの注



矢嶋副委員長（ジュニア育成）からクラブの本数のチェックを受ける



素晴らしいショットを見せる本多奈央ちゃん



美しい桜の花も忘れてバッティングに集中

報「KGA」No.84：'03秋・冬合併号）そのプレーぶりを追ってみることにした。奈央ちゃんは今回は小学5年生（富士市立青葉台小）、140センチのジュニアに成長していた。マナー、プレーいずれも良好。昨年の茨城ゴルフ俱楽部西コース（5,359ヤード、パー72）のジュニアでは大会1打差の2位に入賞した。今回は4位、入賞こそ逃したものの78ストロークで茨城大会のスコア81を3打上回る立派なもの。今後、ますますの成長が楽しみだ。

親権者のみなさんへ注文

さて、次にコースを巡回してみて気が付いたところをご紹介したい。総じて、ジュニアのプレー、マナーは良かったと思う。しかし、小さな靴跡がくっきり残っているバンカーもあった。

一方、親権者のスコアラーだが、選手とは5ヤード以内に近付かないように注意されているが、必ずしも励行されていない。子供についてティ一インググラウンドを駆け上り、横切っていくスコアラーがいた。5ヤード以内オフリミットの注



グリーン外にピンをそっと置く



林の中からは、慎重に、安全に脱出

意はあまり守られていないようだった。プレー終了後、表彰式までの間、ジュニア達はお互い打ち解けて遊んでいる。「ゴルフに国境なし」と言うが、アメリカンスクールのジュニアも一緒に楽しそうである。三々五々グループになって元気一杯に飛び回っている子供たちを見ると、ここには少子化現象は関係ないように見える。

男女とも1位は60台 大会史上新記録

午後4時27分、全出場者の集計が終わり、同45分からクラブハウス前の広場で表彰式が行われた。嶋田副委員長の成績発表に続き、大鷲委



レーキを使って上手にバンカーの砂をならす

員長から入賞者6名にメダルが授与されると共に次の通りスピーチがあった。「過去のベストスコアは68であるが、男子69、女子68と男女揃って60台のスコアを記録したのは前例がない。技術レベルは年々向上している。エチケット、マナーも大変良くなっている。しかし周りの人々に感謝する気持ちを持ってプレーしないとゴルフにはなりません。お父さん、お母さん、委員の皆さん、そして休みにも関わらず、出勤している俱楽部の人たちにも感謝しましょう。

また、お父さん、お母さんに一言申し上げます。何件かあったようだが、携帯電話を使って距離を測って教えようとしたり、スコアが悪いと子供を叱責する親がいました。親という字は、『木



風車もストップ。無風のフェアウェーへ会心のティーショット

の上に立って見る』と書きます。親は遠くから、広く見てやると言ふことです。皆さんの宝である子供たちを正しく評価し、正しく育てていただきたい。」

さらに大鷲委員長から、「みんなから委員の人たちに拍手を送ろう」との掛け声に答えて、ジュニアから拍手が起り、大会は幕を閉じた。

余裕を持って会場に来よう

ジャック・ニクラウスが初めて69をマークしたのは13歳だった。スコアを単純に比較することは意味ないが、今大会では、小学4年生塩屋恵ちゃん(10歳)が68、6年生松下龍之介君(11歳)が69というスコアを出し、男女揃って70を切ったことは特筆に値する。KGAジュニアの



トロリーを引く手にも力が入る。一步一步フェアウェーを踏みしめて



スコアカードの提出。思わず緊張が走る

実力恐るべし。

一方、朝のスタート時に遅刻しそうな選手の対応に係者は大変苦労された。会場まで子供を安全に、かつ余裕を持って連れて来るのは親の責任だ。朝のラッシュ時に道路が渋滞するのは、何も特別のことではない。十分に渋滞を計算に入れて、余裕を持って会場に来て欲しいものだと痛感した。

男子優勝 松下龍之介くん

つくば市立谷田部小6年 69

2位 櫻井大樹くん

南アルプス市立白根飯野小6年 70

3位 加藤政和くん

日高市立高麗小4年 73

女子優勝 塩屋 恵さん

搜真小(横浜市)4年 68

2位タイ 中山裕里加さん

藤枝市立瀬戸谷小6年 74

3位 渡邊 碧さん

日高市立高萩小5年 76

KGA 春季 ジュニア・ゴルフスクール

小学生の部

千葉カントリークラブ梅郷コース 平成19年4月2日

写真／増田 收(KGA広報委員)

KGA春季ジュニア・ゴルフスクール（小学生の部）には、桜が満開の去る4月2日、千葉カントリークラブ梅郷コースで110名の小学生ゴルファーを集めて行われた。

単独の小学生の部としてジュニアスクールを開校したのは、ことしが初めてだが、その背景には、昨年からことしにかけての小学生受講者の数の急増がある。チビッ子ゴルファーたちは、顔を紅潮させながらラウンドレッスンに、パッティング練習、バンカー練習に汗を流した。



期待に目を輝かせながら受付に並ぶジュニアたち



ラウンドレッスン。プロの指導に耳を傾ける。



短いバターを手に真剣な顔が並ぶ



咲き誇る桜をよそにバンカーショットの練習

● ● ● ●

平成19年度 KGA春季ジュニア・ゴルフスクール



ラウンドレッスン。池を前に全力で挑戦だ。
ボールは池を軽く越えてフェアウェイへ



練習を終えてボール集め。一日の楽しさが顔に出る



カメラに向かって「ハイ ポーズ！」



閉会式風景。大鷲 KGA ジュニア育成委員長の身ぶりをまじえた挨拶に真剣な目が応える

中学・高校の部

茨城ゴルフ倶楽部 西コース 平成19年4月2日
写真／片山晴美(KGA広報委員)・塚越克一(KGA広報委員)

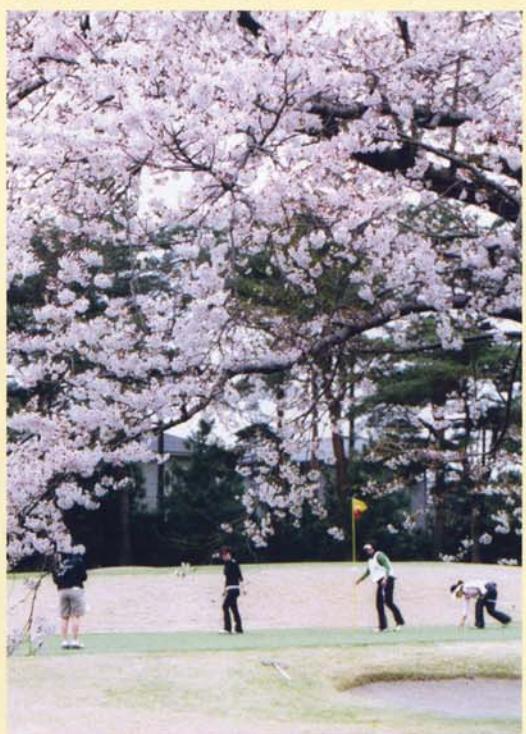


満開の桜に見送られるようにティーショット

中学・高校の部のゴルフスクールは、桜花が競い合う茨城ゴルフ倶楽部が舞台。さすがにジュニアもこの年齢になると、大人顔負けのショットをする人が多い。将来のアマチュア界を担う新星たちだ。しかし、体躯に恵まれ、パワーはあっても、奥の深いゴルフではほんの入口にきたばかり。技術はもちろん、ルール、マナーなどに得るところは多かった。



スタート前、指導にあたるプロの紹介



桜に見とれる暇もなくラウンドレッスンが始まる



指導のプロに見守られながら小枝を拾う



厳しいレッスンも忘れる食事のひととき

みごとに決まったバンカーショット(上)。
そして砂をきれいにならすのも忘れない(下)

洗練された高校生たちのスwing。アマチュアの中心選手に育つ日も近い



小・中学生の部

ハイランドセンター 平成19年3月30日

写真／舟橋一芳(KGA広報委員)・増田 收(KGA広報委員)



3月30日、都内のハイランドセンターで行われたKGAジュニア・ゴルフスクールは小学生、中学生が対象だ。ショートコースながら林あり、池ありのホールで実践を学び、練習場ではクラブの握り方から振り方までを熱心に勉強した。本格的な春の季節には、まだ少し間があったが、指導者のプロの先生方やジュニアの額には、うっすらと汗が光っていた。

◀小学生とは思えないきれいなフォーム。
先生のプロも思わず「ナイスショット！」



手をとってラインを教える先生。



練習場ではプロのレッスンに表情も厳しく



◀教室での勉強も真剣そのもの



池ボーリングのボールを探すジュニアたち



先生から砂のならし方を教わる



ストローク前の集中の一瞬



「どこへ行ったんだろう」



バターでフェアウェイへ



付添いの親権者たちに挨拶する川島ジュニア育成副委員長

新規加盟俱楽部紹介

イーグルポイントゴルフクラブ



- 俱楽部名 イーグルポイントゴルフクラブ
住所 〒300-1156
茨城県稻敷郡阿見町福田1668-5
電話 029-889-5001
FAX 029-889-5003
- 開場年月日 平成17年4月1日
- 理事長 平野 岳史
- 俱楽部代表者 平野 岳史
- 支配人 平山 直史
- 俱楽部概要

イーグルポイントゴルフクラブは、筑波山の南約30kmに位置します。今年3月に圏央道が開通し都心からの所要時間は約1時間、最寄りの牛久阿見ICからは約5分と非常に便利になりました。

コース内は終日無料でご利用頂ける300mのドライビングレンジ、コース内と同じ速さのパッティンググリーン等、ゴルフを愛するプレーヤーの皆様にとって最上級の環境が整っております。コースはOBゾーンの少ないフラットな林間コースですが、アンジュレーションに凝った戦略性の高いホールが続きます。フェアウェイは広めながら、ライを平坦に取れるポイントは少なく正確なショットが要求されます。また当コース攻略の一番のポイントはなんといってもグリーン上です。ふかふかの絨毯を思わせるようなフェアウェイの先には、平均12m以上の高速グリーン。アマチュアの方はもちろん、プロゴルファーでも攻略困難なグリーンコンディションを年間を通して維持しております。

クラブハウス内は一流ホテルのような落ち着い

たたたずまい。館内にはコース内の緑を数多く展示しシックな雰囲気の中にも華やかさがあります。またお客様のどのようなご要望にも応えるべく、レストランでは和食・洋食・中華それぞれのシェフが厳選された素材に腕をふるってお客様をお迎えしております。

訪れて頂いたお客様皆様にまた来たいと思って頂けるよう、またご来場頂いた一日を素晴らしい一日にして頂けるよう、従業員一同が心からのおもてなしで皆様をお迎え致します。

武藏の杜カントリークラブ <準会員>



- 俱楽部名 武藏の杜カントリークラブ
住所 〒350-0407
埼玉県入間郡越生町上谷1028
電話 049-292-6311
FAX 049-292-5141
- 開場年月日 昭和54年11月23日
- 俱楽部代表者 大継 正昭
- 支配人 平山 泰治
- 俱楽部概要

奥武藏自然公園をはじめ、越生(おごせ)梅林、黒山三滝など、古き良き“武藏野”の面影を今に残す景勝の地に佇む“武藏の杜カントリークラブ”。緑滴る豊かな自然の中で、季節ごとに様々な花木を間近に眺め、野鳥の囀りに耳を傾けながら、四季折々にゴルフがお楽しみいただけます。春をを迎えますと、当クラブの名物であるコース内約280本の梅が開花し、続いて桜・花水木・つつじ・藤の花が、秋になると鮮やかな紅葉がご観賞いただけます。

当クラブは、全日空商事グループの一員として

平成17年4月8日から再スタートし、その後クラブ名も平成17年10月1日に「武藏の杜カントリークラブ」と改称(旧称: 奥武藏カントリークラブ)し、おかげさまで3年目を迎えるました。このたび関東ゴルフ連盟準会員のご承認をいただき、役職員一同、改めて身の引き締まる思いでございます。今後はメンバーのクラブライフの更なる向上を目指すとともに、微力ながら連盟およびゴルフ業界の益々の発展に貢献してまいりたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

<コース概要>

自然を生かした18ホールの丘陵コースではありながら、ホールの高低差はそれほどなく、自然林でセパレートされたコースはホール毎に特徴があり、戦略性の高いコースとなっております。また、微妙なアンジュレーションの施されたグリーンは、

何度ラウンドを重ねてもその攻略にチャレンジ精神が掻き立てられます。

【全長: 6,237m・コースレート: 69.1】
(ベントグリーン)

<アクセス>

恵まれた環境に立地しながらも、お車でのアクセスは、関越自動車道・練馬ICより鶴ヶ島IC経由で約50分。平成19年6月には圏央道が中央自動車道・八王子ICに接続する予定で、東京西部や神奈川県北部にお住まいの方もますます便利に(圏央道ご利用のお客様には最寄りの越生駅(東武越生線・JR八高線)より、無料乗合タクシーがご利用いただけます(セルフドアは除く))。

<詳細は当クラブのホームページを参照ください。
<http://www.mm-cc.co.jp>>

総会・理事会・分科委員会

確りとし、フェアな競技を展開していることによるものと考える。その影響がコース・レート査定申請の大増としても表れている。最後に、ジュニア育成は、時代を背景として、ジュニア選手権、スクールそして大会と、全ての活動に多くの参加申込みがあった。特に参加者の傾向は、低年齢化を示しており小学生の参加が著しく伸びている。このような活発な活動状況にあって、いくつかの課題もあった。

- (1)活動の拡大に対する、運営体制
- (2)俱楽部対抗競技の参加数の増加への対応
- (3)競技参加者のエチケットとマナーの問題
- (4)ジュニアの低年齢化への対応
- (5)KGAカードのさらなる普及である。

このようなことを背景に、連盟収支を見ると、一般会計・特別会計とも予算

を上回る結果を確保する事ができた。これは皆様のご尽力の賜物と、心より敬意を示すと共に、微力ながら役割を果たさせて頂いた事に、心より御礼を申し上げたい。」

統いて事務局より加盟502俱楽部中、委任状を含め314俱楽部の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議長より議事録署名者として、稲川廣政常務理事、佐々木靖雄理事が指名され、開会が宣せられた。

—決議事項—

第1号議案

「平成18年度事業報告、並びに一般会計・特別会計収支決算の承認の件」議長の指示により、事務局より、活動内容及び決算項目につき説明がなされた後、一般・特別両会計の決算報告が行われた。次いで近藤監事の監査報告がなされ、原案どおり承認された。

第2号議案

「平成19年度事業予定、並びに一般会計・特別会計収支予算（案）の承認の件」議長より、平成18年11月14日の常務理事会において、細則に基づき11名の各都県理事候補推薦委員を選任し、各都県で「俱楽部代表者会議」が招集され、1月19日の理事会で推薦承認された53名の理事候補者、並びに細則に基づき選任が正副理事長に一任され、1月19日の理事会で承認された学識理事7名、監事2名の候補者の氏名が発表され、承認された。

「収入に関しては、一般会計、特別会計とも、昨年の実績を充分に考慮し、確実な収入を見込んだ。一般会計では、新規加盟俱楽部関係を4俱楽部とし、参加料は、関東アマチュア・ミッドアマチュアの会場増加を加味し、昨年の参加者実績を充分に考慮した。

特別会計では、「J-sys」のJGAへの移行の問題はあるものの、本年は従来の運営システム変更する内容を検討して、その範囲の中で収入を考えた。

支出に関しては、一般会計、特別会計とも、昨年実績を基本とし、各分科委員会より提出された費用を加味して編成した。

編成に当つての増・減は、次の主たる要件である。

- 主催競技での2会場増やしたことに関連するコース使用料・賞品費の増加
- ジュニア選手権予選会2会場増加に関連するコース使用料・賞品費の増加
- 参加者・連盟運営委員に対する保険料負担

- 事務所賃料値上げ分等である。

その結果、新年度予算の收支は、収支均衡に近い、若干の黒字を計上した。

次いで事務局より一般・特別両会計の予算案につき報告がなされ、原案どおり承認された。

第3号議案

「役員全員任期満了につき改選の件」議長より、平成18年11月14日の常務理事会において、細則に基づき11名の各都県理事候補推薦委員を選任し、各都県で「俱楽部代表者会議」が招集され、1月19日の理事会で推薦承認された53名の理事候補者、並びに細則に基づき選任が正副理事長に一任され、1月19日の理事会で承認された学識理事7名、監事2名の候補者の氏名が発表され、承認された。

新潟県よりの理事

伊藤文吉・遠藤栄松・斎藤文志郎
牧野庄三

長野県よりの理事

小坂健介・下条進一郎・高澤克治
宮坂久臣

山梨県よりの理事

稲川廣政・志村和也・堀内光一郎

群馬県よりの理事

相澤伸幸・貫井忠彦・萩原剛

福田 彰・宮下 直

栃木県よりの理事

佐々木靖雄・篠崎勝宏・篠崎暢宏
高橋利之・富田一吉・広中三男

福嶋寿克

茨城県よりの理事

安藤修一・海老原寿人・古賀 始
黒澤長利・塚原 裕・平山誠一

村山政志

埼玉県よりの理事

尾関秀夫・高橋正孝・竹田恒正
林雄太郎・吉田友明

千葉県よりの理事

牛込公一郎・小宮山義孝
塚本清士郎・富田浩安・早川恒雄

平岩健一・渡邊満之助

東京都よりの理事

後藤 仁・森川幸美
神奈川県よりの理事

井上裕之・岩宮 浩・五味丈夫
廣幡忠淳

静岡県よりの理事

伊藤 淳・木村玄一・野村茂継
前川昭一・福田 豊

学識理事

大原慎二・大鷲俊朗・川田太三
田村圭司・中野弘治・野口正三
松本富夫

監事

近藤 瞰・廣瀬康夫
続いて議長は、総会を休憩し、規約第16条の定めにより、新理事による新理事長互選の為の会議の開催を指示、別室において新理事長の選任がなされた。

その結果、新理事長に吉田友明氏が選任された旨、総会に報告された後、吉田新理事長となり所信表明が以下のとおりなされ、議事が再開された。

「昨今では大手企業から中小企業まで、景気の回復が大きく叫ばれているが、ゴルフ界は比較的立地条件の良いところは入場者も増加の傾向が

見えており、全体はゴルフ界を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況である。最近は格差のことが話題となっているが、ゴルフ界も地域格差が明確に表れてきている。本年より、団塊の世代が定年を迎えるが短期的な課題として、この世代を確り受け止めることができるか否かが、俱楽部運営に大きく影響を与えるのではないかと思われる。このような状況の下で、本年度の方針として昨年度の課題を基本に置いて改めて関東ゴルフ連盟の目的を確認して、次の7つの方策を展開したい。

- (1)後継者の育成を確りと見て、運営と活動を展開する
- (2)俱楽部対抗競技の制度検討と充実を図る
- (3)アンダーハンディキャップ選手権の活性化を図る
- (4)「J-sys」の普及とJGAへの移行は慎重に検討し協力する
- (5)関東高等学校ゴルフ連盟との連携を強化する
- (6)KGAカードの加盟増加目標を達成し、普及を図る
- (7)加盟俱楽部の加入を促進する

以上の7つの方策を、役員・分科委員の皆様と充分な話し合いをしながら確実に展開をし、連盟の使命である、加盟俱楽部の親睦による連携強化と健全なゴルフの普及・発展を計る。

改めて、皆様のご協力とご支援を心よりお願いいたしたい。」

報告事項

- ①財日本ゴルフ協会「平成18年度事業報告及び決算報告」並びに「平成19年度事業計画及び予算」に関する件

事務局より次の報告がなされた。

「平成19年度事業計画及び予算は、財日本ゴルフ協会理事会において決定し、加盟俱楽部に送付済みで

ある。平成19年度事業報告及び決算報告については、財日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定である。」

②財日本ゴルフ協会理事「監事・監事候補選任」に関する件

平成19年1月19日の常務理事会において、候補者の選任が正副理事長に一任されたのを受けて、議長より、各候補者氏名が発表された。

理事候補：尾関秀夫・小宮山義孝
竹田恒正・吉田友明

監事候補：廣瀬康夫

全ての議事が終了後、出席者より「KGAの加盟俱楽部は会員を大切にしてもらうと共に、KGAは、人材を育成し組織の活性化を進めてもらいたいとの、意見があった。以上をもって、総会の議事を終了、議長より、退任された理事（赤羽功、村上富司、内山浩一郎、飯豊周二、難波重幸、田土部勝昭、佐藤健三、南学正昭、水野正人）への謝辞が述べられ、11時40分閉会を宣した。総会終了後、懇親パーティーが多数報道関係者を迎えて盛会裡に行われた。

平成18年度 第3回常務理事会議事録

日 時 平成18年11月14日（火）正午

場 所 グランドアーク半蔵門 和の間

出席者 吉田理事長、

小宮山、竹田恒正理事長

稻川、岩宮、大原、齊藤、

篠崎、高橋、塚原、野口、

広中、森川、

渡邊各常務理事

定期、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。事務局より常務理事総数17名中委任状を含め16名の出席があり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として野口正三、広中三男両常務理事が指名された。

（5）退会勧告俱楽部について
平成17・18年度、年会費未納俱楽部の以下の3俱楽部について、本年12月までに納入されない場合は、来る平成19年1月19日に開催される第4回理事会において退会

また、討議に先立ち、新機能が追加されリニューアルされるKGAホームページのデモンストレーションが行なわれた。

—討議及び決議事項—

①加盟審査及び退会勧告通知に関する件

（1）加盟審査について
広中常務理事、塩原カントリークラブよりの推薦を受け、「那須霞ヶ城ゴルフクラブ」（栃木県）の準会員への推薦が承認された。

（2）正会員から準会員への移行について

「沼田スプリングスカントリー俱楽部」（群馬県）より、本年7月1日より、パブリックゴルフ場への運営変更がなされ、名称も「ゴルフクラブスカイリゾート」と変更され、正会員としての資格喪失に伴い、準会員への移行申請届けが提出され、審議の結果、準会員への移行が承認された。

（3）「妙高サンシャインゴルフ俱楽部」（新潟県）について
平成17年4月20日付け退会した同俱楽部より、再加盟の意向があり、来る平成19年1月19日に開催される第4回理事会において入会審査を行なうことを確認した。

（4）「東ノ宮カントリークラブ」（栃木県）について
本年6月27日に民事再生手続きの開始決定がなされた同俱楽部に対して、平成18年度年会費について一部を更生債権として届け出ることが承認された。

（5）退会勧告俱楽部について
平成17・18年度、年会費未納俱楽部の以下の3俱楽部について、本年12月までに納入されない場合は、来る平成19年1月19日に開催される第4回理事会において退会

勧告を決議することが承認された。

「信州駒ヶ根カントリークラブ」(長野県)、「富士河口湖ゴルフ俱楽部」(山梨県)、「エースゴルフ俱楽部」(群馬県)

②平成18年度一般会計・特別会計決算案ならびに平成19年度一般会計・特別会計予算案に関する件

(1)平成18年度一般会計・特別会計決算案について

事務局より、9月末時点での確定事項ならびに予定額を考慮した決算案について説明がなされ、来る11月28日に開催される第3回理事会に上程されることが承認された。

(2)平成19年度一般会計・特別会計予算案について

事務局より、各分科委員長より提出された来年度の活動計画に基づき策定された予算案について説明がなされ、決算案同様、第3回理事会に上程されることが承認された。

なお、「助成金」「コース使用料」の値上げが討議され、総務委員会でその検討を行なうことが確認された。

③平成19年・20年度各都県理事候補推薦委員選任の件

理事長より以下の推薦委員の指名がなされ、承認された。

新潟県：斎藤文志郎

長野県：赤羽功

山梨県：稲川廣政

群馬県：萩原剛

栃木県：広中三男

茨城県：塚原裕

埼玉県：高橋正孝

千葉県：渡邊満之助

東京都：森川幸美

神奈川県：岩宮浩

静岡県：伊藤淳

なお、都県によっては現行「連盟規

約」では理事推薦が難しいとの意見が出された。

④平成19年度分科委員会・部会の委員候補者推薦の件

理事長より標題の件につき説明がなされ、「連盟規約」に法り、理事長・副理事長・常務理事・理事及び分科委員長に本日だけで分科委員推薦依頼をすることとした。また、推薦の期限については平成19年1月10日とすることを確認した。

⑤各分科委員会に関する件

以下の委員会につき各常務理事、事務局より報告がなされた。内容及び承認事項は以下の通り。

(1)競技委員会：野口常務理事

①後期競技会の報告

本年度「関東ミッドアマ」優勝者のアマチュア資格喪失による競技終了後の成績変更につき報告がなされた。

②平成19年度俱楽部対抗競技の開催方式について

予選：本年と同様、各都県常務理事に開催方式を各都県毎で検討願い、来年1月10日までに提出することとした。

決勝：本年と同様とした。

③予選会場の増設について

「関東アマ」「関東ミッドアマ」の参加選手増に伴い、予選会場を各1会場増やすこととした。なお、「関東アマ」については、2次予選の実施を継続審議することとした。

④月例競技よりのシード選手について

以下の通り、平成20年度各競技に対する月例競技よりのシード枠が承認された

「関東アマ」：現行30位（シード選手を含む）→25位（シード選手を含む）

「関東ミッドアマ」：現行なし

→5名（シード選手を除く）
「関東シニア」：現行なし
→3名（シード選手を除く）
「関東女子」：現行10位
→10位（シード選手を含む）

「関東ミッド女子」：現行なし
→3名（シード選手を除く）

(2)ジュニア委員会：事務局

①ジュニアスクールマニュアル作成について
来年度の作成が承認された。

②「関東ジュニア」と関東高等学校ゴルフ連盟主催「高等学校選手権」の一本化について

常務理事会として両競技の一本化に向けての方向性は承認するが、実務面の問題等を解消してから一本化することが承認された。

③ハンディキャップ委員会：事務局

日本パブリックゴルフ場事業協会より、「J-sys」の使用料金の見直し依頼書が届いた旨の報告、並びに「J-sys」の完全Web版の検討を行ない、全体の仕組み・使用料金の見直しを行なっていることが報告された。

④広報委員会：高橋常務理事

「連盟75年史」の予算化、スケジュール、担当小委員会の設置、並びに担当業者を「凸版」とすることが承認された。

⑤カード部会：高橋常務理事

各俱楽部の会報に「KGAカード」の広告を掲載すべく、3種類の版下を作成した旨の報告がなされ、特に常務理事の関係する俱楽部はじめ、各俱楽部への掲載依頼がなされた。

⑥税対策委員会：事務局

平成8年4月1日付け自治府第35号「国民体育大会等に係るゴルフ利用税の取り扱いについて」の資料をもとに、JGAが主催する競技会

の予選に相当する地区連盟が主催する競技会とその指定練習日のゴルフ利用税が2分の1以下の率になることの説明と、今後の対応について説明がなされた。

(7)グリーン委員会：事務局

「'07ジャパン・ターフ・ショー」の後援が承認された。

⑥事務局に関する件

事務局より、以下の事項の説明がなされ、承認された。

(1)事務所の一部改修について

(2)局員の新規採用について

(3)事務所賃貸料の値上げについて

⑦財日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

申請のあった80名についてJGAへの推薦を承認した。

また、事務局より現在の会員総数は2,403名、関東地区1,249名との報告がなされた。

⑧その他

理事会・通常総会の開催について確認がなされた。

●第3回理事会：

11月28日（火）正午

グランドアーク半蔵門

●第4回理事会：

平成19年1月19日（金）正午

グランドアーク半蔵門

●第59回通常総会：

平成19年2月20日（火）

10：00～ ホテルニューオタニ

全議事終了後、吉田理事長15時10分閉会を宣した。

平成19年度 第1回常務理事会議事録

日 時 平成19年4月12日（木）正午

場 所 グランドアーク半蔵門

出席者 吉田理事長、

尾閑・竹田副理事長、

相澤、伊藤、稲川、岩宮、

大原、篠崎、高橋、塚原、野口、広中、宮坂、渡邊各常務理事

定期、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。事務局より理事18名中、委任状を含めた18名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、岩宮、大原両常務理事を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①加盟審査に関する件

塚原常務理事、つくばねカントリークラブよりの推薦を受け「富士OGMゴルフクラブ出島コース」(茨城県)、渡邊常務理事、森永高滝カントリー俱楽部よりの推薦を受け「富士OGMゴルフクラブ市原コース」(千葉県)の準会員への加盟が承認された。

②平成19年度関東ゴルフ連盟役員・委員に関する件

事務局より、配布された役員・委員名簿に基づき、本年度分科委員は、若干名未定のカード部会委員を除き、確定した旨の報告がなされた。

③ハンディキャップ運用変更及び変更に伴うスコアカード処理料の見直しに関する件

「J-sys」に関して、今回のシステム変更、見直し、ならびに携帯版「J-sys」開発費用について、事務局より以下の報告がなされ、承認された。

(1)システム機能変更の経緯について
(2)システム機能変更の基本方針（目的）について

(3)システム機能変更の具体的な内容について

●携帯電話導入（平成19年6月1日）「モバイルJ-sys」の件

●JGAハンディキャップを取得する会員を「J-sys」に登録する件

●「J-sys」に登録料を加盟会員

は¥420円、バ協関係他加盟俱楽部以外は¥735円にする件

●「JGAハンディキャップ証明書」発給に関する件

●「JGAハンディキャップ」と「俱楽部ハンディキャップ」の関係と管理の件

④携帯版「J-sys」開発費用について（ソラン（社）見積書にて説明）

⑤平成20年度より、KGA主催競技への出場には、「J-sys」のJGAハンディキャップ登録をする必要がある事について

また、「俱楽部対抗競技」まで含めるか否かについて意見が出されたが、再度、常務理事会において検討をする事とした。

④J-sysのJGA移行に関する件

尾閑副理事長より以下の報告がなされた。

「昨年のKGA常務理事会の決定を受け、決定された内容でJGAとすりあわせを行い、JGAとして「J-sys」の導入を決定した。また、オペレーションについてはKGAでの実績で「ソラン（社）」に依頼することが決定された。移行時期については、まだ未決議であるため、しばらく時間がかかることが予想される。それまでにKGA内で新システムでの実証をし、運用して頂きたい。KGA内の運用費用に関しては、加盟俱楽部は1人年間420円、(社)日本パブリックゴルフ場事業協会は1人735円と価格差をつけて頂きたい。「移行費用」については、JGAとしてもKGA収益事業としての収支実績とWedに掛かった償却残は考慮したいと考えている。最終的なものは移行の時期が明確になった時点で会長と理事長とで話し合いをする。」

これを受け以下の意見交換がなされた。
●J-sys携帯版は1日でも早い採用を希望する意見

用を望む。

- JGAに対して移行を第一に考え、「移行費用」の話は理事長に一任する。

⑤事務所移転に関する件

高橋常務理事より、総務委員会での決議事項の説明がなされ、新事務所への移転が承認された。

⑥競技委員会管理運営研修会に関する件

野口常務理事より、以下の提案がなされ承認された。
「KGA主催の各競技に相応しいコースセッティングの管理運営の研修により委員の一層の知識向上に資することを主たる目的にし、競技委員会の中に管理運営研修会を発足させ、競技副委員長の内藤正幸氏を同研修会長に就任頂き、机上及び実地で研修を行い、来年度以降は研修部会として発足できるように活動を行なっていきたい。」

⑦平成19年度俱楽部対抗競技各ブロック大会会長に関する件

事務局より、各都県の俱楽部対抗競技の出場俱楽部、大会会長につき報告がなされた。

⑧平成19年度アンダーハンディキャップゴルフ選手権について

事務局より、各都県の開催俱楽部、開催日程につき経過報告がなされた。

⑨関東高等学校ゴルフ連盟との一本化延期に関する件

事務局より、ジュニア委員会にて決議された、関東高等学校ゴルフ連盟との本年度ジュニア選手権競技一本化の延期報告がなされた。

⑩国体に係るゴルフ利用税軽減処置（自治府第35号）に関する件

事務局より、ゴルフ利用税軽減処置（自治府第35号）についての説明、並びに各都県より推薦された「平成19年度国体に係るゴルフ利用税取扱

担当者」の報告がなされ、関係事項をまとめた資料を各常務理事に配布することとなった。

⑪ジャパン・ターフ・ショーゲン大会実施中止に関する件

事務局より、グリーン委員会において決議された「ジャパン・ターフ・ショーゲン」での講演会を中止した経緯の報告がなされた。

⑫委員長会議からの報告に関する件

●コースレート委員会
大原常務理事より、本年度査定俱楽部の状況報告がなされた。

●広報委員会
高橋常務理事より、KGAニュースの各都県インタビューが今年で終了する旨の報告がなされ、新しいテーマにつき検討依頼がなされた。

これを受け、次号KGAニュースに「J-sys」の特集記事を掲載することが決議された。

⑬後援競技に関する件

4月12日現在、申請のあった9競技の後援が承認された。

⑭財日本ゴルフ協会個人会員入会の件

4月12日現在、申請のあった13名を承認した。

⑮その他

(1)小宮山副理事長の件

吉田理事長より、小宮山副理事長の辞任届が4月2日提出され受理した旨の報告がなされ、今後については6月1日に開催される正副理事長会議で検討することが報告された。

(2)KGA推薦のJGA評議員について

本年度改選期となるJGA評議員の選任は正副理事長に一任となつた。

(3)ミオス菊川カントリークラブの南

学正昭元常務理事が、3月にご逝去された訃報が報告され、故人のご冥福をお祈りした。

全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成18年度 第3回理事会議事録

日 時 平成18年11月28日（火）正午
場 所 グランドアーケ半蔵門 富士西の間

出席者 吉田理事長、
小宮山、竹田両副理事長
赤羽、稻川、岩宮、大原、齋藤、
篠崎、高橋、塚原、野口、荻原、
広中各常務理事
相澤、伊藤淳、井上、牛込、
海老原、大鷲、川田、古賀、
佐々木、下条、田村、塚本、
富田、貫井、林、平岩、平山、
廣幡、福嶋、福田、宮坂、
村山各理事
近藤、廣瀬各監事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。事務局より理事総数58名中委任状を含め57名の出席があり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として渡邊満之助常務理事、古賀始理事が指名された。

—討議及び決議事項—

①退任理事の件

事務局より、難波重幸理事（八王子カントリークラブ）が平成18年11月20日付けで退任された旨の報告がなされ、全員これを確認した。

②加盟審査及び退会勧告通知に関する件

去る11月14日開催された第3回常務理事会で承認された下記事項の報告がなされた。

(1)「那須霞ヶ城ゴルフクラブ」(栃木県)の準会員への加盟

(2)「沼田スプリングスカントリー俱楽部」(群馬県)より、本年7月1日より、パブリックゴルフ場への運

営変更がなされ、名称も「ゴルフクラブスカイリゾート」と変更され、正会員としての資格喪失に伴う準会員への移行加盟。

(3)平成17・18年度、年会費未納の「信州駒ヶ根カントリークラブ」(長野県)、「富士河口湖ゴルフ俱楽部」(山梨県)、「エースゴルフ俱楽部」(群馬県)について、本年12月までに納入されない場合は、来る平成19年1月19日に開催される第4回理事会において退会勧告を決議すること。

③平成18年度一般会計・特別会計予定表ならびに平成19年度一般会計・特別会計予算案に関する件

(1)平成18年度一般会計・特別会計決算案について
事務局より、9月末時点での確定事項ならびに予定額を考慮した決算案について説明がなされ承認された。

④平成19年度一般会計・特別会計予算案について

事務局より、各分科委員長より提出された来年度の活動計画に基づき策定された予算案について説明がなされ承認された。

⑤平成19年・20年度各都県理事候補推薦委員選任の件

事務局より標題推薦委員につき、過日開催された第3回常務理事会で下記の諸氏が選任された旨の報告がなされ、これを確認した。

新潟県：齋藤文志郎
長野県：赤羽 功
山梨県：稲川廣政
群馬県：荻原 剛
栃木県：広中三男
茨城県：塚原 裕
埼玉県：高橋正孝
千葉県：渡邊満之助
東京都：森川幸美
神奈川県：岩宮 浩

静岡県：伊藤 淳

⑥平成19年度分科委員会・部会の委員候補者推薦の件

事務局より標題の件につき説明がなされ、「連盟規約」に法り、理事長・副理事長・常務理事・理事及び分科委員長に分科委員候補者の推薦依頼がなされた。また、推薦の期限については平成19年1月10日とすることを確認した。

⑦ホームページ機能改善変更内容の件

事務局よりリニューアルされたKGAホームページにつき詳細な報告がなされた。

⑧各分科委員会に関する件

以下の委員会につき分科委員長、事務局より報告がなされた。内容及び承認事項は以下の通り。

(1)競技委員会：野口常務理事

①後期競技会の報告
本年度「関東ミッドアマ」優勝者のアマチュア資格喪失による競技終了後の成績変更につき報告がなされた。

②平成19年度俱楽部対抗競技の開催方式について

予選：本年と同様、各都県常務理事に開催方式を各都県毎で検討願い、来年1月10日までに提出することとした。

③月例競技よりのシード選手について

以下の通り、平成20年度各競技に対する月例競技よりのシード枠の報告がなされた。

「関東アマ」：

現行30位（シード選手を含む）→25位（シード選手を含む）

「関東ミッドアマ」：

現行なし→5名（シード選手を除く）

「関東シニア」：

現行なし→3名（シード選手を除く）

「関東女子」：

現行10位

→10位（シード選手を含む）

「関東ミッド女子」：現行なし

→3名（シード選手を除く）

(2)ジュニア委員会：大鷲理事

①ジュニアスクールマニュアル作成について

来年度の作成方針の説明がなされた。

②「関東ジュニア」と関東高等学校ゴルフ連盟主催「高等学校選手権」の一本化について

両競技の一本化に向けての報告がなされた。

(3)ハンディキャップ委員会：富田理事

①日本パブリックゴルフ事業協会より、「J-sys」の使用料金の見直し依頼書が届いた旨の報告、並びに「J-sys」の完全Web版の検討を行ない、全体の仕組み・使用料金の見直しを行なっていることが報告された。

(4)広報委員会：高橋常務理事

「連盟75周年史」の予算化、スケジュール、担当小委員会の設置の報告がなされた。

(5)カード部会：高橋常務理事

各俱楽部の会報に「KGAカード」の広告を掲載すべく、3種類の版下を作成した旨の報告がなされ、理事の関係する俱楽部をはじめ、各俱楽部への掲載依頼がなされた。

(6)税対策委員会：事務局

平成8年4月1日付け自治府第35号「国民体育大会等に係るゴルフ利用税の取り扱いについて」の資料をもとに、JGAが主催する競技会の予選に相当するKGA主催競技と指定練習日が、利用料金を20%軽減する条件で、ゴルフ利用税2分の1以下の率になることの説明と今後の対応について説明がなされた。

(7)グリーン委員会：平山理事
来る平成19年1月15日に開催される、第53回グリーン研究講習会について説明がなされた。

⑧事務局に関する件

事務局より契約更新時の事務所賃料値上げ通知に関して説明がなされた。

⑨JGA「ゴルフ振興金」(仮称)の件 去る11月22日にJGAにて開催された全国地区連盟代表者、事務局長会議でJGAより提案された標題の件につき、事務局より報告がなされた。

⑩その他

下記事項の確認がなされた。

- 「平成19年度（第72回）日本オープンゴルフ選手権」の後援
 - 第4回理事会：
平成19年1月19日（金）正午
グランドアーチ半蔵門
 - 第59回通常総会：
平成19年2月20日（火）10:00～
ホテルニューオータニ
- 全議事終了後、吉田理事長14時30分閉会を宣した。

平成18年度 第4回理事会議事録

日 時 平成19年1月19日（金）正午
場 所 グランドアーチ半蔵門 光の間
出席者 吉田理事長、
小宮山、竹田両副理事長
赤羽、稻川、岩宮、大原、斎藤、篠崎、高橋、塚原、野口、
萩原、広中、森川、渡邊各常務理事
相澤、伊藤淳、井上、牛込、
海老原、大鷺、小坂、佐々木、
志村、下条、田村、塚本、
富田浩、貫井、平岩、平山、
廣幡、福嶋、福田、前川、
宮坂各理事
近藤、廣瀬各監事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。事務局より理事総数57名中委任状を含め53名の出席があり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として赤羽功常務理事、小坂健介理事が指名された。

—討議及び決議事項—

①加盟審査及び退会勧告に関する件

- (1)加盟審査について
 - ①斎藤常務理事（フォレストカントリー俱楽部）、妙高カントリー俱楽部よりの推薦を受け、「妙高サンシャインゴルフ俱楽部」（新潟県）の正会員への加盟が承認された。
 - ②平山理事（江戸崎カントリー俱楽部）、つくばねカントリークラブよりの推薦を受け、「イーグルポイント」（茨城県）の正会員への加盟が承認された。
 - ③高橋常務理事（日高カントリークラブ）、高麗川カントリークラブよりの推薦を受け、「武藏の杜カントリークラブ」（埼玉県）の準会員への加盟が承認された。
- (2)退会勧告俱楽部について

平成17・18年度、年会費未納俱楽部の以下の3俱楽部について退会勧告が決議された。

 - 「信州駒ヶ根カントリークラブ」（長野県）、「富士河口湖ゴルフ俱楽部」（山梨県）、「エースゴルフ俱楽部」（群馬県）

- ②平成18年度一般会計・特別会計決算（案）及び平成19年度一般会計・特別会計予算（案）に関する件
 - (1)平成18年度一般会計・特別会計決算について

事務局より決算案について説明がなされ承認された。
 - (2)平成19年度一般会計・特別会計予算について

- 算案について

事務局より予算案について説明がなされ承認された。
なお、福田理事より俱楽部対抗競技コース使用料等の増額が提案され、関係委員会の検討課題とされた。

③平成19年・20年度「理事」「学識理事」「監事」推薦候補者に関する件

吉田理事長より、各都県より推薦された理事候補53名の報告がなされ、総会に上程することを承認した。

新潟県：伊藤文吉、遠藤栄松、斎藤文志郎、牧野庄三
長野県：小坂健介、下条一郎、高澤克治、宮坂久臣
山梨県：稲川廣政、志村和也、堀内光一郎
群馬県：相澤伸幸、貫井忠彦、萩原剛、福田彰、宮下直
栃木県：佐々木靖雄、篠崎勝宏、篠崎暢宏、高橋利之、富田一吉、広中三男、福嶋寿克
茨城县：安藤修一、海老原寿人、古賀始、黒澤長利、塚原裕、平山誠一、村山政志
埼玉県：尾関秀夫、高橋正孝、竹田恒正、林雄太郎、吉田友明
千葉県：牛込公一郎、小宮山義孝、塚本清士郎、富田浩安、早川恒雄、平岩健一、渡邊満之助
東京都：後藤仁、森川幸美
神奈川県：井上裕之、岩宮浩、五味丈夫、廣幡忠淳
静岡県：伊藤淳、木村玄一、野村茂繼、前川昭一、福田豊

また、正副理事長会議にて決議され、次記7名の学識理事、2名の監事候補者を総会に上程することを承認した。

学識理事：大原慎二、大鷺俊朗、川田太三、田村圭司、中野弘治、野口正三、松本富夫
監事：近藤敏、廣瀬康夫

④平成19年度分科委員・部会委員推薦状況に関する件

各理事、分科委員長より推薦された委員候補者が確認された。

⑤「第59回通常総会」に関する件

「第59回通常総会」日程及び、議題を次記の通り決議した。

- (1)開催日時：2月20日（火）10:00～ ホテル「ニューオータニ」麗の間
- (2)議題：第1号議案「平成18年度事業報告」並びに「一般会計・特別会計収支決算（案）」の承認の件

- 第2号議案
「平成19年度事業予定」並びに「一般会計・特別会計収支予算（案）」の承認の件
- 第3号議案
「役員任期満了に伴う改選の件」

- 第4号議案「その他」

報告事項

- ①「財」日本ゴルフ協会「平成18年度事業報告及び決算報告」並びに「平成19年度事業計画及び予算」に関する件

- ②「財」日本ゴルフ協会「理事・監事候補選任」に関する件
- ③「財」日本ゴルフ協会理事及び監事候補選任に関する件

- ④「財」日本ゴルフ協会理事・監事候補者選任については、正副理事長に一任され、総会で報告することが決議

された。

⑦各分科委員会からの報告の件

以下の委員会につき分科委員長、事務局より報告がなされた。内容及び承認事項は以下の通り。

(1)競技委員会：野口常務理事

- ①平成19年度主催競技日程について

関東アマ、関東ミッドアマの予選ブロック増設報告がなされた。

(2)平成19年度俱楽部対抗競技の開催方式について

東京都の開催方式の変更が報告された。

(3)各都県体協団体よりの委員推薦依頼について

競技委員会で決議された各都県体協団体からの委員委嘱について、必要性の是非が問われているとの報告がなされた後、各理事意見交換がなされ、従来どおりとすることが決議された。

(4)関東アンダーハンディキャップゴルフ選手権の開催について

更なる各理事の協力体制の強化が必要であるとの報告がなされた。

(5)カード部会：高橋常務理事

更なる各理事、各俱楽部への協力依頼がなされた。

(6)ジュニア委員会：大鷺理事

- ①「関東ジュニア」と関東高等学校ゴルフ連盟主催「高等学校選手権」の一本化について
- 両競技の一本化に向けて前向きに検討している旨の報告がなされた。

(7)ジュニアスクールマニュアル作成について

俱楽部との関係強化のためのマニュアル作成としている旨の報告がなされた。

③各都県体協団体との関係強化について

更なる関係強化の必要性の提案がなされた。

(4)グリーン委員会：平山理事

第53回グリーン研究講習会が好評裡に終了した報告がなされた。

(5)ハンディキャップ委員会：富田理事

①社日本パブリックゴルフ場事業協会の「J-sys」使用料金の見直し

②「J-sys」の完全Web版に伴う使用料金低価格化の実現

③JGAとのハンディキャップ一元化の為の打合せを行なっている旨の報告がなされた。

④財日本ゴルフ協会個人会員入会審査に関する件

1月19日現在申請のあった38名を承認した。

⑤「平成19年度後援競技」に関する件

1月19日現在申請のあった10競技の後援を承認した。

全議事終了後、吉田理事長閉会を宣した。

平成19年度 第1回理事会議事録

日 時 平成19年2月20日（火）12時45分

場 所 ホテルニューオータニ 翔の間

出席者 吉田理事長、
相澤、伊藤淳、稻川、井上、
岩宮、牛込、海老原、大原、
大鷺、尾関、川田、木村、
黒澤、古賀、後藤、小宮山、
五味、斎藤、佐々木、篠崎（勝）、

篠崎(暢)、高澤、高橋(正)、
高橋(利)、竹田、田村、塚原、
塚本、富田、中野、貫井、野
口、野村、萩原、早川、林、
平岩、平山、広中、福田(豊)、
堀内、松本、宮坂、宮下、森川、
渡邊各理事

近藤、廣瀬両監事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。

事務局より理事62名中、委任状を含めた60名の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、相澤伸幸理事、伊藤淳理事を指名し順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

①平成19年・20年副理事長、常務理事選任の件

選任は理事長一任となり、副理事長は尾関秀夫、小宮山義孝、竹田恒正の三氏、常務理事は相澤伸幸、稻川廣政、伊藤淳、岩宮浩、大原慎二、斎藤文志郎、篠勝宏、橋正孝、塚原裕、野口正三、広中三男、宮坂久臣、森川幸美、渡邊満之助の各氏が推薦され承認された。

②平成19年・20年分科委員長・部会長選任の件

選任は理事長一任となり、次の諸氏が推薦され承認された。

総務委員会：高橋正孝

カード部会：篠勝宏

競技委員会：野口正三

規則部会：鈴木昭満

コース選定部会：野口正三

ハンディキャップ委員会：

富田浩安

コースレート委員会：大原慎二

月例競技委員会：中野弘治

ジュニア育成委員会：大鷲俊朗

広報委員会：高橋正孝

税対策委員会：井上裕之

グリーン委員会：平山誠一

体協委員会：岩宮浩

③平成19年度分科委員選任の件
選任は理事会終了後に開催される「分科委員長会議」に一任された。

④財日本ゴルフ協会平成19年度委員会委員候補者推薦の件
選任は理事長、副理事長に一任された。

⑤平成19年度関東俱楽部対抗競技大会会長選任の件
選任は各都県常務理事に一任され、3月9日までに事務局に報告することとなった。

⑥各分科委員会からの報告の件
(1)総務委員会
小宮山前総務委員長より、KGA事務所の賃貸状況の変更につき報告がなされ、引き続き総務委員会にて早急に検討することとなった。

(2)カード部会
高橋委員長よりKGA役員、分科委員の「KGAゴルファーズカード」未入会者への加入が強く要望された。

(3)ジュニア育成委員会
大鷲委員長より、高等学校ゴルフ連盟との競技一本化について経過報告がなされた。

(4)ハンディキャップ委員会
富田委員長より、「J-sys」処理料金の抜本的見直し、JGAへの移管経過報告がなされた。

⑦財日本ゴルフ協会個人会員入会の件
2月20日現在、申請のあった18名を承認した。

⑧その他
(1)後援競技について
次の8競技の後援が承認された。
①第3回東京都知事杯アマチュアゴルフ選手権（男・女）
(兼第62回国民体育大会東京都代表選手選考競技会)
②第3回東京都社会人ゴルフ選手

権

(兼全国都道府県社会人アマチュアゴルフ選手権東京都代表選手選考競技会)

③第61回東京都民体育大会 区市町村対抗ゴルフ大会

④東京都議会議長杯 第3回東京都女子シニアゴルフ選手権
東京都議会議長杯 第3回東京都グランドシニアゴルフ選手権

⑤東京都議会議長杯 第3回東京都シニアゴルフ選手権

⑥第9回山梨オープンゴルフ選手権競技

⑦第4回ユニセフ支援プロアマチャリティゴルフトーナメント

⑧第3回関東社会人ゴルフ選手権

(2)平成19年度理事会関係及び委員長会議開催日程について
事務局より、開催案内は改めて案内するとし、理事会関係及び委員長会議日程の報告があった。

●通常総会：

平成20年2月20日（水）

●常務理事会：

4月12日(木)12:00、
7月3日(火)12:00、
11月13日(火)12:00

●理事会：

7月10日(火)12:00、
11月27日(火)12:00、
平成19年1月18日(金)
12:00

●委員長会議：

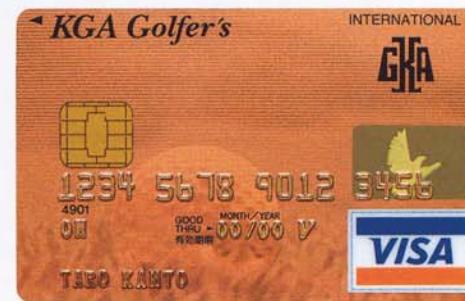
4月12日(木)10:00、
9月4日(火)12:00

全議事終了後、吉田理事長13時30分閉会を宣した。

KGA Golfer's card



KGA Golfer's card は通常のカード機能に加え、ゴルファーの皆様に数々の特典を提供させていただく機能を持っています。カードは ①KGA Golfer's GOLD カード(年会費10,500円(税込)) ②KGA Golfer's カード(年会費3,150円(税込)) の2種類よりお選びいただけます。



保険サービス

① ゴルファー保険

- ホールインワン・アルバトロス費用
- 第三者に対する賠償責任
- 傷害
- ゴルフ用品の損害

	KGAGolfer's GOLDカード	KGAGolfer's カード
ホールインワン・アルバトロス費用	50万円	10万円
第三者に対する賠償責任	1億円	1億円
傷死、後遺障害保険金額	500万円	300万円
傷害 入院保険日額(180日限度)	7,500円	4,500円
傷害 通院保険日額(90日限度)	5,000円	3,000円
ゴルフ用品の損害	20万円	10万円

② 国内・海外旅行傷害保険

旅行や出張の都度、旅行傷害保険に入る手間も出費も不要。※KGA Golfer's GOLD カード

③ ショッピング保険

カードでご購入された日から180日間、商品の破損・火災・盗難による損害を、1品1万円から最高100万円まで補償します。

※KGA Golfer's GOLD カード



その他の特典

- JGAハンディキャップ取得（オプション）
・関東ゴルフ連盟発行のJGAハンディキャップが取得できます。(年会費2,100円(税込))
・関東ゴルフ連盟主催の特定競技に出場できます。

●ETCカード(年会費永年無料)

- ・ETC専用カードを無料で発行します。

●ロードサービス

- ・24時間対応いたします。※KGA Golfer's GOLD カード

●ポイントサービス

- ・カードご利用 1,000円(税込)につき1ポイント、商品は190ポイントから交換できます。

カードは から選べます

サービス内容はKGAホームページでご確認いただけます

くお問い合わせ先

OMCサービスセンター 03-5638-3211

承り時間／月～土曜・祝日9:15～20:00 白曜10:00～20:00

関東ゴルフ連盟事務局 03-5275-0391

関東ゴルフ連盟

所属ゴルフ俱楽部支配人他事務スタッフにもお問い合わせ下さい。

月例競技成績表

〔平成18年度11月月例〕 平成18年11月20日(月) 茨城ゴルフ倶楽部・西コース
男女共に降雨のため中止

〔平成18年度12月月例〕 平成18年12月11日(月) 狹山ゴルフ・クラブ 西・東コース

男子	ランク	スコア	氏名	所属
1	70	大塚 智之	川 越	
2	71	前栗戴俊太	セントラル	
3	72	園田 峻輔	東 千 葉	
4	73	小平 智 鷹	鷹	
4	73	齊藤 麗	甲 府 国 際	

女子	ランク	スコア	氏名	所属
1	72	森 桜子	扶 桑	
2	76	矢嶋 里菜	霞ヶ関	
2	76	綾田 純子	大 宮 国 際	

〔平成19年度1月月例〕 平成19年1月17日(水) 袖ヶ浦カントリークラブ・新袖コース

男子	ランク	スコア	氏名	所属
1	72	堀内 健	千 葉 国 際	
2	73	亀井 隆	唐 沢	
3	74	広田 文雄	長 野	
4	75	飯塚 裕一	チャーミング藤岡	
4	75	熊谷 淳	水 戸 グ リ ー ン	

女子	ランク	スコア	氏名	所属
1	76	原田 沙織	富 士 平 原	
2	77	綾田 純子	大 宮 国 際	
3	79	矢嶋 里菜	霞ヶ関	
3	79	直井 梨瑛	か づ さ	

〔平成19年度2月月例〕 平成19年2月13日(火) 相模原ゴルフクラブ・西コース

男子	ランク	スコア	氏名	所属
1	72	佐藤 和夫	東 千 葉	
2	72	秋元 一男	相 模 原	
3	74	金子 光規	レ イ ン ポ ー	
3	74	豊島 豊	東 千 葉	
5	75	大槻 智春	千 葉 桜 の 里	
5	75	竹原 洋行	東 名	
5	75	榎本 刚之	鶴 舞	
5	75	松田 永基	清 川	
5	75	谷口 英樹	セベ・バレステロス	

女子	ランク	スコア	氏名	所属
1	77	木戸 愛	ロ イ ャ ル ス タ ー	
2	77	高橋香雅美	小 田 原 ・ 松 田	
3	78	佐藤 彩香	小 田 原 ・ 松 田	

※優勝はブレーオフによる

〔平成19年度3月月例〕 平成19年3月12日(月) 龍ヶ崎カントリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏名	所属
1	72	青木 龍一	東 名	
2	73	小平 智	鷹	
3	74	早乙女剛史	銀 月 ・ 佐 野	
3	74	角田 浩溌	東 千 葉	
5	75	園田 峻輔	東 千 葉	
5	75	齊藤 麗	甲 府 国 際	
5	75	佐藤 和夫	東 千 葉	

女子	ランク	スコア	氏名	所属
1	80	林 恵子	総 武	
2	81	原田 沙織	富 士 平 原	
2	81	南雲 真理	岡 部 チ サ ン	

移転のお知らせ



関東ゴルフ連盟は
5月28日より移転します。

住 所：東京都中央区銀座8丁目-18番-11号
銀座SCビル4階

T E L : 03-6278-0005

F A X : 03-6278-0008

平成19年6月1日発行 KGA NEWS No.94

発行所／関東ゴルフ連盟 〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目-18番-11号 銀座SCビル4階

TEL.03-6278-0005 FAX 03-6278-0008 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人／吉田 友明 編集／広報委員会